

医療法人社団広恵会 春山外科病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5

TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021

<http://www.haruyama-hosp.com>

e-mail : info@haruyama-hosp.com

「^{やけど}熱傷」

診療部 形成外科
小野 紗耶香

近年、給湯システムが普及したため、高温浴槽などでの全身的な熱傷は減少しました。

しかし、IHクッキングヒーターや電気ケトル、炊飯器、ホットプレート、小型の鍋など家庭での卓上熱源による熱傷は増加しています。

熱傷は、高い温度のものが皮膚に接触したときほど、そして長時間皮膚に接触したときほど深い熱傷になります。そのため、高温でもごく短時間の接触では浅い熱傷になりますが、逆に体温より若干高いくらいの湯たんぽなどでも長時間接触すると深い熱傷となります。

熱傷の受傷部位やその受傷深度において、特徴的な症状がみられるため、その所見と合わせて診断します。感染が起きるとさらに深い熱傷へと移行します。そのままにしても、いずれは閉創しますが、深い熱傷の場合、瘢痕拘縮（※）を起こしてしまうので、機能的後遺症や整容的后遺症が問題となります。いかに早期に感染を防ぎ、それ以上深くないような、適切な治療ができるかが熱傷治療の鍵です。

熱傷治療は軟膏などによる保存的治療と、手術があります。浅い熱傷であれば各種の創傷被覆材を使用して、保存的に治療します。深い熱傷では皮膚移植を行います。

熱傷の治療では…

- ① 早期に診断し
- ② 注意深く経過観察しながら深度を見極め
- ③ 必要であれば早期に手術を行うという流れがあります。

当院では主として形成外科医が熱傷の診断、治療を行っております。水疱を伴うような熱傷を受傷した場合は、できるだけ早期の受診をおすすめします。また熱傷の面積や特殊部位に応じて、専門の医療機関での治療をお勧めしています。



（※）はんこんこうしゅく：熱傷後の傷による引きつれやそれに伴う関節運動障害のこと。



平成22年4月～平成22年9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
外来患者延べ数	4,268	4,295	4,636	4,618	4,200	4,056	26,073
入院患者延べ数	1,488	1,586	1,482	1,465	1,497	1,583	9,101
搬送救急車台数	412	387	393	438	401	443	2,474
平均在院日数	14.0	14.2	12.7	13.4	11.2	12.0	12.9
手術件数	74	60	70	56	51	63	374

「新任医師の紹介」

10月1日付で消化器科・外科の常勤となりました上野力（うえのちから）です。
「あれ、だあれ？」から早や1ヶ月が過ぎましたが、この場をお借りして、私の16年間の自衛隊医官としての歩みを記しつつ、自己紹介とさせていただきます。

＜出身＞大阪府 ＜年齢＞43歳 ＜前勤務地＞三宿病院・自衛隊中央病院

＜専門分野＞一般・消化器外科 代謝・栄養・免疫

＜経歴＞

平成6年 防衛医大医学科卒業

平成6～8年 防衛医大で初任実務研修

この2年間は内科・外科・麻酔科・救急の他4つの診療科を研修するスパーローテートでした。

平成8～10年 鹿児島県鹿屋航空衛生隊医務室勤務

特攻隊所縁の地である鹿屋の航空部隊です。私の仕事はパイロットや整備員の健康管理、航空身体検査と医務室の診療でした。

平成10～12年 防衛医大で消化器外科の専門研修

平成13年1月～7月 国連兵力引き離し監視隊(UNDOF)医官

イスラエルとシリアの間にあるゴラン高原で、両国の紛争が起こらないように監視するミッション。現在も日本が参加するPKOです。日本の部隊は50名弱で医官は1人。私の仕事は日本隊、及び同じ場所に宿営しているカナダ隊の隊員の健康管理、傷病手当でした。

平成13年～14年 自衛隊横須賀病院 外科

平成14年～18年 防衛医大（大学院）（平成16年～17年 米国ウイスコンシン大学留学）

平成18年～20年 防衛省海上幕僚監部衛生企画室

防衛省での仕事は、他国海軍との人事交流、医官の人事、自衛隊医療に必要な人・物・予算の要求で、全くのデスクワークでした。

平成20年～22年 三宿病院、自衛隊中央病院勤務

2つの病院の外科を掛け持ちしました。上記期間中に米国のテロ対策支援活動（インド洋派遣）に半年、ベトナム、カンボジアへの人道医療支援活動に1か月半参加しました。

＜付言＞

外科の医者と言いつつも海外派遣や外科以外の仕事に従事することも多く、そのおかげで貴重な経験を多くさせてもらった16年間でした。22年10月1日は今までの経験をリセットし、まっさらな状態でスタートしましたが、今後は今までの経験を随所に生かし、スタッフのみなさんと共に温かく質の高い医療を提供していきたいと思いますのでご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



消化器科
上野 力

春山外科病院の理念と基本方針

病院理念

救急医療活動を中心とし、さらに地域に密着した急性期病院として、常に患者の皆様に安心して信頼される医療を提供できるよう努力してまいります。

基本方針

1. 急性期疾患と救急医療にあたる地域の中核病院として常に医療技術の向上を図り、最善の医療を提供できるよう努力いたします。
2. 患者様の権利を尊重し、患者様との信頼関係のもとで安全で納得のできる医療を確保するため、患者様自らにさまざまな医療の現場で、診療に積極的に参加していただき、患者様とのより良いパートナーシップを構築するよう心がけてまいります。
3. 医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を行い、適切な医療サービスを提供できるように努めます。
4. 地域の医療・福祉機関等との連携を強化し、地域のニーズに適応した医療を提供致します。
5. スタッフと病院がともに発展できる、働きがいのある職場を目指します。
6. 健全な経営を維持し、その成果を医療活動を通じて地域に還元します。

患者様の権利

当院では下記の患者様の権利を守ることを宣言します。

良質な医療を公平に受ける権利

患者様はだれでも社会的な地位、疾病も種類、宗教などにより差別されることがなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利を持っています。

選択の自由の権利

患者様は担当の医師、病院等を自由に選択し、また変更する権利があります。また、いかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有しております。

情報を得る権利

患者様には、自身の病状や治療について医療上の記載されている情報を受ける権利を有しています。また、納得出来るまでわかりやすく十分な説明を受ける権利があります。

自己決定の権利

患者様は、情報と医療従事者の誠意ある助言・協力を得たうえで、自己の自由な意思に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受け、選択し、あるいは拒否する権利を有します。

プライバシーを保護される権利

患者様には、医療過程で得られた個人情報の秘密が侵されない権利があります。

尊敬を得る権利

患者様は、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利を有します。また痛みをはじめとする苦痛の除去を受ける権利があります。

医療機関の皆様へ

《検査依頼》

検査予約は、下記時間帯で承ります。

平日 9:00～17:00

土曜日 9:00～16:00

CT、MRI検査は「放射線技術科」、
脳波検査は「臨床検査室」、
その他については「外来看護師」が
対応いたします。

《入院依頼》

緊急入院につきまして、9:00～17:00 の
診療時間内の依頼は診療担当医が対応
いたします。夜間、休祭日は当直医が
対応いたします。

その他、緊急性の少ない入院の相談は
療養支援相談室で承ります。

TEL : 03-3363-1661 (代)